

平成19年度 再評価対象事業一覧表(詳細審議)

平成19年8月30日作成

整理番号	事業計画						再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)			
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト削減及び代替案立案の可能性の有無		
						着工		完了	(億円)	前年度迄事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地進捗率 (%)	H19年度事業費 (億円)				H20年度以降事業費 (億円)	B / C				分析基礎の要因の変化	
																							当
土木部																							
道路維持課																							
道維-1	道路改築事業	市道尾浦線	市	対馬市厳原町	延長1.85km、幅員5.5(7.0)m	H10	H19	9.9	事業採択後10年経過	9.2	66	95	0.4	4.4	特に無し	事業実施にあたり、切土部の土質を精査した結果、岩盤部の切土勾配を6分から8分に変更した。これに伴い残土処理費及び法面保護工費が増えた。また、事業途中(H12)に建設リサイクル法が施行され、当初は計画されていない建設廃材処分費(伐根材等)が必要となった。以上の理由により事業費が増え計画期間の延長が必要になった。	事業の早期完成を切望している	1.58	1.09	完成年度の遅延及び事業費増によるもの	今後も可能な限りコスト削減を図る。代替案立案の可能性はない。	-	継続
						H10	H24	14.0															
砂防課																							
砂防-1	地すべり対策事業	鷲尾岳地区	県	江迎町	集水井工 29基 集水ボーリング 790本 排水ボーリング工 29本 横ボーリング工 21本 深礎工 36本 アンカー工 224本	S32	H30	97.4	再評価後5年経過	82.9	82.5	70	1.2	16.3	特に無し	対策工着手以降、地すべりの変動量は減少しているが、排水隧道においては地すべりによる変状が顕著に現れている。また、深礎工に作用している応力も年々増加しており、地すべり活動は今なお継続している。今後も観測、データ収集を行いながら地すべり対策工及び排水隧道の改築を行い、事業の概成をめざす。	地すべり対策工工事の早急な概成	1.12	1.41	被害想定区域内を再精査し、受益戸数の修正をおこなった。	抑制工の効果継続的に観測しながら施設配置等を随時見直し、コストの削減に努める	H14	見直し継続
					集水井工 31基 集水ボーリング 844本 排水ボーリング工 31本 横ボーリング工 21本 深礎工 36本 アンカー工 224本 法面工 A=3.000m2 隧道改築工 L=398.5m	S32	H30	100.4															

平成19年度 再評価対象事業一覧表(詳細審議)

平成19年8月30日作成

整理番号	事業計画							再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)	
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費(億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト削減及び代替案立案の可能性の有無
						着工	完了			前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H19年度事業費	H20年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化			
						上段:当初	下段:変更			(億円)	(%)	(%)	(億円)	(億円)								
住宅課																						
住宅-1	密集住宅市街地整備促進事業	稲佐・朝日地区	市	長崎市	道路・公園の整備、共同住宅の建設、老朽住宅の除却等	H10	H19	47.0	事業採択後10年経過	12.6	27	19	1.0	33.4	特に無し	平成7年から平成17年で人口は19%減、世帯は12%減、高齢化率は9%増加している。	-	1.41	当初算出なし	・事業推進の効率化等による事業期間の短縮を図る。 ・生活道路等公共施設の路線設計、施工計画において、建設コストの削減に努める。 ・代替案の可能性はない	-	継続
						H10	H24															
都市計画課																						
都市-3	街路事業	厳原豆飯美津島線	県	対馬市厳原町	延長560m 幅員16m 対馬市厳原町中心市街地を縦貫する道路であり、交通混雑の緩和、歩行者の安全を確保し、道路周辺の発展及び生活環境の向上に寄与する。	H10	H19	15.0	事業採択後10年経過	21.4	76	83	1.4	5.2	今屋敷地区第一種市街地再開発事業に伴う対馬市交流センター平成18年10月7日オープン	平成16年3月1日対馬6町が合併し、対馬市となる。	-	1.06	当初算出なし	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	-	継続
						H10	H24															